

第47回 若杉祭のお知らせ

今年の若杉祭は、11月1日[日]～3日[火]に開催いたします。今年は学園祭47回目を迎え、前年度までの学園祭以上に、より一層盛大なイベントや出し物をご用意いたしております。誰もが来て楽しめる目玉企画を多数とりそろえておりますので、老若男女問わず、ぜひ足をお運び下さい。また、若杉祭の最大イベントである「秋のからっ風こんさあと」には、ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ぜひお越し下さい。

同時開催 ホームカミングデー | 2015年11月1日[日]



日本工業大学卒業生求人依頼

工友会では、大学とタイアップし既卒業生に就職情報を提供しています。そのために各地域の就職情報を広く募集しております。日本工業大学の卒業生(新卒・既卒を問わず)を採用したい会社を募集します。例えば、地元OBを採用したい会社(Uターン採用)はありませんか? 自社や勤務先で就職の情報がありましたら、ぜひご一報ください。

詳細は工友会ホームページの工友会ネットのページにて
<http://www.koyukai.com/>

日本工業大学吹奏楽団

[第32回記念定期演奏会のお知らせ]

今回の日本工業大学吹奏楽団定期演奏会は、3部構成を予定しております。第2部では「ミュージックタイムマシーン」と題し、幅広い年代にお楽しみいただけるステージを予定します。当楽団の迫力のある演奏をお送りしますので、当日はご家族そろってお越しください。

開催日=2015年12月13日[日]

開場=13:30 | 開演=14:00 | 会場=春日部市市民文化会館 大ホール
入場料=無料 | お問い合わせ=TEL: 0480-33-4111
E-mail: nit_wind@yahoo.co.jp



卒業証明書・成績証明書の発行について

卒業証明書・成績証明書は随時発行できます。卒業後に上記証明書が必要となった場合には、下記AとBのどちらかの方法でお申し込みください。

A——学校まで直接お越しになる場合
事前にお電話で連絡の上、証明書料金とご本人であることを確認できるもの(運転免許証など)をお持ちになって、教務課までお越し下さい。

B——郵送をご希望の場合
郵便局の「代金引換郵便」を利用してお送りいたします。本学公式ホームページより「在校生・卒業生の方」を開き「卒業証明書・成績証明書の申込」から、証明書申込用の書式をダウンロードして必要事項をご記入の上、ご本人であることを確認できるもの(運転免許証など)と一緒に、教務課までFAXをお送り下さい。代金引換手数料など、詳細については本学公式ホームページをご参照ください。

なお、「電気主任技術者」「無線技士」および(教員免許申請用の)「学力に関する証明書」・「建築士受験用の成績証明書(平成21年度以降入学者対象)」は、通常の成績証明書とは異なります。これらにつきましては教務課/証明書係まで直接お電話にてお問い合わせください。

[日本工業大学 教務課 証明書係]

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
Tel: 0480-34-4111[代] | Fax: 0480-33-7527[直]

住所が変わったら、ご連絡を!

会報を確実にお届けするために、転居などにより住所が変わった方は、会員情報の更新連絡をお願い致します。連絡方法は、以下の通りです。

- 1——工友会ホームページの専用フォーム
- 2——会報同梱のハガキ
- 3——事務局宛てにメール、または電話

会報も年1回
お届けしていますので
ぜひご覧ください。

一般社団法人 日本工業大学工友会事務局 連絡先

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
日本工業大学内 工友会事務局
Tel: 0480-33-7509 | Fax: 0480-33-7521
E-mail: koyukai@nit.ac.jp
URL: <http://www.koyukai.com/>
Facebook: <http://facebook.com/nit.koyukai>

一般社団法人 日本工業大学工友会【会報】 No.43 | 2015年8月1日発行 | 表紙: 大学設立50周年記念建設事業「多目的講義棟」(建築写真提供) | 発行責任者: 土井嘉豊(〒) | 編集: 広報委員会【宮口廣治(428)/飯塚祐二(523)/宇内福業担当【竹内貞徳(400)/鈴木史朗(420)/森田るみ(421)/古澤雅仁(422)/植入修(522)】 | デザイン: 刈谷悠三/角田奈央/neuciona | 印刷: 高瀬印刷

2015 No.43
KOYUKAI Bulletin

- 00 会長挨拶
- 01 理事長/学長からのメッセージ
- 02 大学設立50周年記念建設事業
- 03 退職された先生からのメッセージ
- 04 ホームカミングデー
- 05 援助へのお礼/奨学生
- 06 総会議事要録
- 07 地域支部の活動報告
- 08 維持会費について



一般社団法人 日本工業大学工友会
Nippon Institute of Technology KOYUKAI

工友会 会報

KOYUKAI Bulletin

「特集」大学設立50周年記念建設事業

Special Feature

ごあいさつ



卒業生[会員]の皆様へ

土井嘉豊 | 一般社団法人日本工業大学工友会 会長

会員の皆さん、お元気ですか。

6月13日に平成27年度工友会定時総会が開催され、一昨年の定時総会でお約束していた定款、細則の整備がほぼ完了した旨の報告があり、任期満了に伴う役員の変更も承認されました。新しい役員も増え、若返りも順調に進んでいます。

中学校や高等学校で教員をされている会員が集う「日本工業大学卒業教職員の集い」を定時総会当日に開催していただき、その後に、合同講演会並びに合同懇親会を大学と工友会で開催することができました。これまで参加できなかった遠方の教員の方も参加され、盛会のうちに終えることができました。

また、新しい試みとして、11月の若杉祭期間中に、会員の皆さんが開発した技術や商品の紹介、執筆した出版物の展示、求人情報の掲示、支部活動のPR等ができるブース「卒業生の部屋」(仮称)という企画を検討しています。

詳細は、9月下旬までに工友会ホームページに告知致しますので、興味のある方は事務局までお問い合わせ下さい。

さらに、大分・福岡県支部(仮称)を設立する準備を進めています。

予定では11月中旬に発足できる見込みです。九州地方(沖縄を除く)にお住まいの会員の皆様には、郵送でご案内致しますので、ぜひご参集下さい。

特集記事にありますように、大学も工友会も50周年に向け、着々と前進しており、大学では間もなく50周年記念事業がスタートします。

工友会としても全面協力したいと考えていますので、ぜひ趣旨をご理解いただき、母校日本工業大学、工友会発展のためにご協力をお願い致します。

工友会の最新情報を
随時発信しています。

ホームページ
www.koyukai.com

フェイスブック
www.facebook.com/nit.koyukai

事務局連絡先
Tel: 0480-33-7509
Fax: 0480-33-7521

組織図



工友会役員名簿

会長	土井嘉豊	E7
副会長	大島敏正	M2
副会長	横山賢二	A14
理事	土野一清	M1
理事	竹内貞雄	M8
理事	薄井敏光	M8
理事	藤田公雄	M9
理事	官谷友詔	E6
理事	飯塚完司	E14
理事	山田覚	E31
理事	中津義智	A5
理事	児玉博文	A5
理事	野口憲治	A28
理事	飯塚祐二	S29
理事	高橋誠	S35
理事	海老原寛之	C5
監事	佐藤建夫	大学財務部長
監事	一戸孝三	M3
監事	加藤幸一	M3
事務局長	清水博幸	E29

*□は、法人法の名称を示す。



大学50周年記念、「多目的講義棟」「学生食堂・クラブ棟」を新築

柳澤章 | 日本工業大学 理事長

工友会の皆様におかれましては、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、日本工大は、2年後の2017(平成29)年に50周年を迎えます。半世紀にわたる歩みの中で日本工大は目覚ましい発展を遂げました。研究設備、実験装置、実習施設はじめキャンパスの充実はもとより、なによりも優れた人材の豊富な輩出によって、日本国内の産業界の成長とアジアをはじめ海外の技術革新に大いなる貢献がなされてきました。現在、学園創立110周年・大学設立50周年記念建設事業を進め、さらなる学園の発展をめざしております。

振り返りますと、学園100周年・大学40周年では、LCセンターを建設し、今やランドマークとして東武線の車窓からの風景として広く知られるようになりました。さらに遡れば、学園60周年の一大事業として取り組まれたのが日本工業大学の設立でありました。このたびの大学の記念建設事業は、「多目的講義棟」と「学生食堂・クラブ棟」の新築です。多目的講義棟は、アクティブ・ラーニングなど学生がより能動的に授業に参加できるスペースなどを設けたシンボリックな建物となります。学生食堂は新たに桜の広場に面して建設。クラブ棟は長年の懸案だった部室の充実を実現させたく新築を計画しています。

また、大学50年のあゆみを編纂すべく、取り組みを進めているところです。日本工大は日本の工学系大学の中でも、実践重視の明確な理念のもとに、工業高校生、教職員、保護者からの強い期待を受けて誕生した、優れてユニークな存在です。と同時に、その理念を従来の大学教育の枠組みの中で実現していくことは、大いなる挑戦だったのです。

大学50周年という大きな節目に、皆様の絶大なご協力を賜りたく、お願い申し上げます。



大学設立50周年に向けて飛躍します

波多野純 | 日本工業大学 学長

工友会の皆様、日本工業大学は、2017(平成29)年、あと2年で、設立50周年を迎えます。この長い歴史のなかで、「実工学教育」を掲げ、「工学を本気で学ぶなら日本工業大学」と言われるまでに成長いたしました。この信頼感を支えているのが、卒業生の活躍です。それぞれの仕事で大きな成果を上げられ、「君がいてくれてよかった」と存在感を発揮されている姿が、目に浮かびます。

今年も1158名(入学定員1000名)と、多くの学生が入学してくれました。今のところ安定した学生数を確保できています。しかし「2018年問題」と言われるように、18歳人口の大幅な減少がはじまります。また、皆さんの時代には、工業高校卒が大半を占めていたが、今年は、設立以来初めて半数を下回りました。このことは早くから予測されたので、「工学発展コース」「工学集中コース」という、工業高校、普通高校それぞれにふさわしいカリキュラムを用意して対応しています。学習履歴を尊重したカリキュラムは、全国的にも例がなく、受験生から高く評価されています。

今の大学教育の課題は、「自ら学ぶ姿勢をいかに育むか」です。「アクティブ・ラーニング」と言われます。講義形式の一方通行の授業ではなく、学生間の討論や共同作業を通じて学んでゆく授業形式を増やす必要があります。本学は、実験・実習・製図や工房教育など、アクティブ・ラーニング型の教育に先進的に取り組んでまいりました。しかし、それだけでは不十分で、教養科目や基礎科目にもアクティブ・ラーニングを導入する必要があります。そのための環境整備として、自由に机の配置が変えられる形の教室を増やしてゆく必要があります。

本学は設立50周年に向けて、キャンパスを大幅に整備します。まず、食堂とクラブ棟を建て替えます。さらに、アクティブ・ラーニングなど新たな教育を目指して、その基盤となる講義棟を建設します。学修支援センター・英語教育センター・初年次教育センターなど、授業時間以外の学修を支援するセンターも組み込みます。このプロジェクトは、予算規模も大きく、工友会の皆様の募金などのご支援がなければ、成し遂げることができません。改めてお願いすることになると思いますが、よろしくご支援の程お願い申し上げます。

日本工業大学は、志を高く掲げ、存在感のある大学として、飛躍する覚悟です。

特集：大学設立50周年記念建設事業

日本工業大学は、平成29[2017]年に、大学設立50周年を迎えます。そこで本学は、設立50周年に向けて、キャンパスの整備を実施します。まずは、平成28[2016]年から食堂とクラブ棟の建て替えを実施します。その後、学生ホール(大食堂)を解体します。平成29[2017]年からは、大食堂の跡地に、アクティブ・ラーニングなど新たな教育の場の基盤となる講義棟を建設します。そして、平成30[2018]年には、新たなキャンパスが完成します。

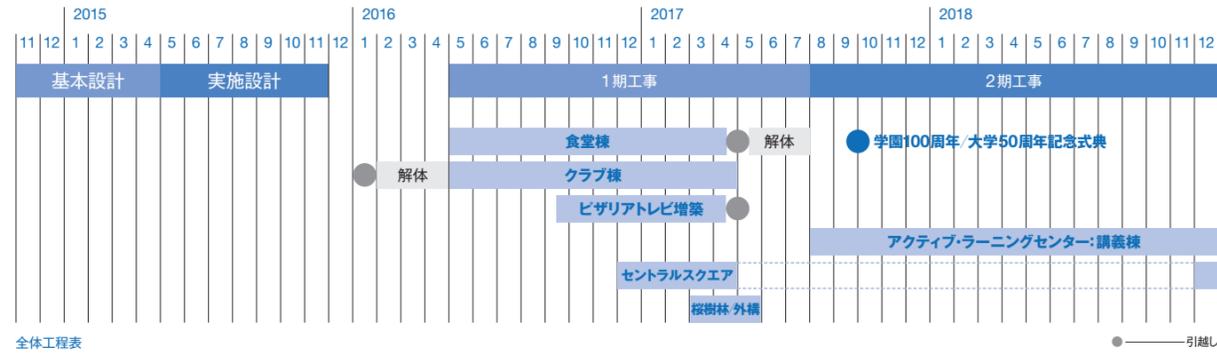
これまでの周年建設事業では、学友会館・工業技術博物館(20周年)、スチューデントセンター(30周年)、LCセンター(40周年)を建設し、キャンパスの整備を行ってきました。今回の周年建設事業では、さらにキャンパスの充実化が進みます。

本誌では、新たに建設される「講義棟」、「食堂+クラブ棟」の概要について紹介し、卒業生の皆さんに広く知って頂きたいと思えます。

寄付のお願い

母校の発展、後輩のために
皆様のご寄付をお願い申し上げます。

50周年記念事業の詳細については、「日本工業大学通信」の特集号として、8月下旬に発行が予定されています。卒業生の皆様には、9月上旬に募金の趣意書、寄付金申込書と併せて特集号がお手元に届く予定になっております。次の50周年に向けての建設事業に、卒業生のご支援をお願い申し上げます。



全体鳥瞰パース[計画案]



講義棟外観パース



講義棟1階学生プラザ内観パース



講義棟7階多目的スペース内観パース



講義棟1階300人教室内観パース(通常時)



講義棟1階300人教室内観パース(建具解放時)



食堂棟内観パース(通常時)



食堂棟内観パース(パーティー時)



食堂棟ミーティングエリア内観パース



食堂棟スタディカフェ内観パース



食堂棟外観パース



クラブ棟外観パース

建築計画概要*

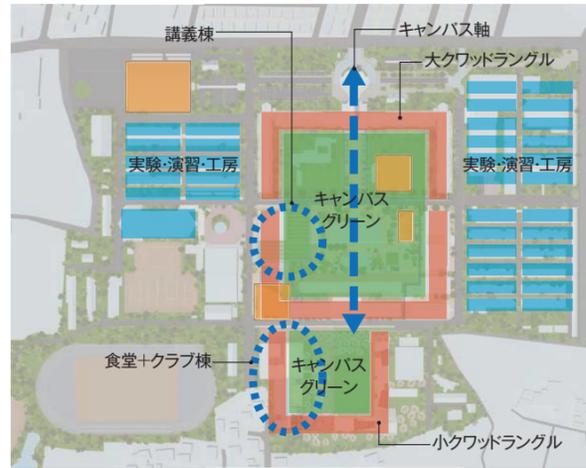
全体施設構成

キャンパスの空間骨格 - 変わるものと変わらないもの -

1967年の開学以来、日本工業大学のメインキャンパスとして歩んで来られた宮代キャンパスには明確な空間の骨格が見出せます。それは、まず、中央のキャンパス軸に貫かれた、コの字型の1、2、3号館から導かれる大きな四角形と、LCセンターが導く小さな四角形。これを建築用語ではクワッドラングルと言います。欧米の大学キャンパスで繰り返し用いられてきたスタイルです。言わば大クワッドラングルと小クワッドラングルによるキャンパスのセンターゾーンの構成です。

そしてそれに囲まれた大きな緑地帯、キャンパスグリーン。センターゾーンの両側の、実学の拠点としての実験・演習・工房等。周年記念棟などアイコンとなるいくつかの建物。このキャンパスの基本構成は、旧図書館の解体により通し直した中央のキャンパス軸と共に、将来に渡り建物を建て替える際のルールとして、維持していくべきものと考えました。そこで、このキャンパスの基本構成を維持しながら、今回の講義棟と食堂+クラブ棟を配置していきます。

* 出典——日本工業大学大学50周年記念建設事業 | 石本建築設計事務所:基本計画書

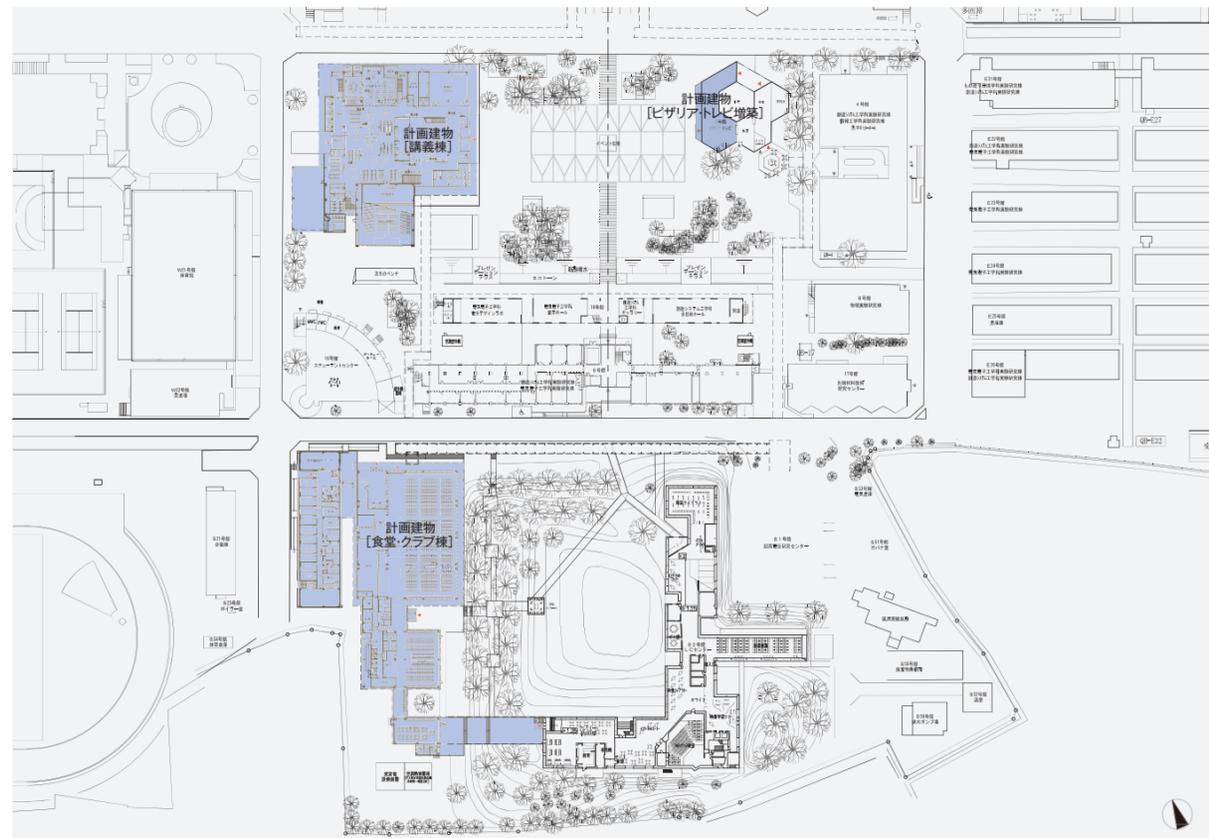


キャンパス基本構成のイメージ



1967年開学時の校舎

旧図書館の航空写真



配置図

講義棟

1 | 配置計画 | 教室を南北向きにした正方形平面とし、省エネを図りながらキャンパスの基本構成を維持します。南北は建築学科棟、西側の広場、4号館の間口と合わせ、東西は学生センターに合わせ、キャンパスの中での配置を整えます。低層のアクティブ・ラーニングゾーンは、南北は中央の広場に、東西は後程説明する食堂+クラブ棟の幅に合わせ配置を整えます。

2 | 平面計画 | ●1階: オープンなアカデミックリビング、初年次教育センターを中心とした比較的にぎやかなアクティブ・ラーニングゾーンです。●2階: ラーニングセンター、学修支援センター、英語教育センターを中心とした比較的静かで落ち着いたアクティブ・ラーニングゾーンです。●3-7階: 講義室ゾーン/今後の講義形態の要望に合わせて、様々な形態に対応できるフレキシブル・ラーニングタワーです。

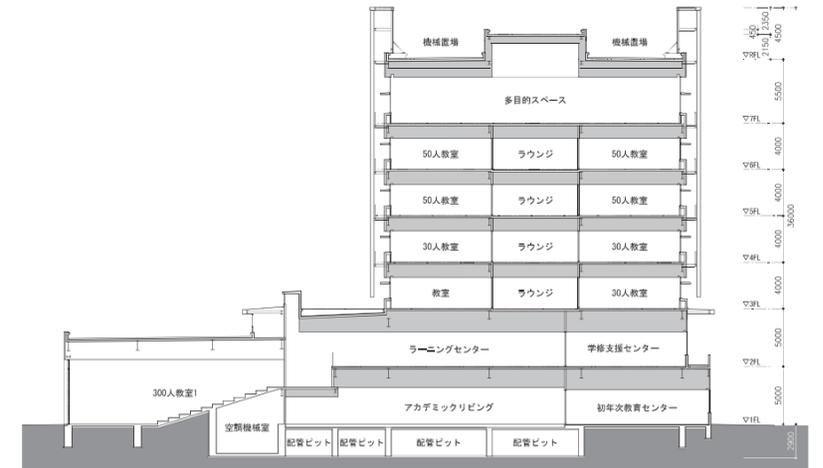
3 | 断面計画 | 全体構成は、高層の講義棟と低層のアクティブ・ラーニングゾーンとすることを提案します。高層の講義棟は大きなクワッドラングルの一角を担いながらキャンパスの新しいシンボルとなります。低層のアクティブ・ラーニングゾーンは、キャンパスグリーンの一部としていわば内部化された広場として周囲のオープンスペースと連携します。

食堂+クラブ棟

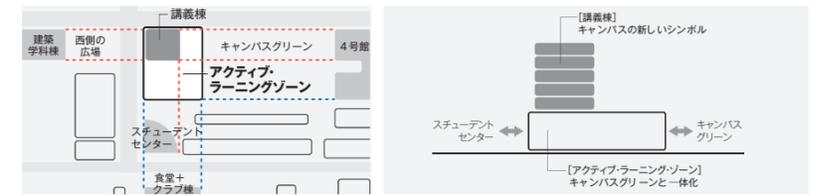
1 | 配置計画 | LCセンターと桜の広場により、キャンパスの中で小クワッドラングルとしての位置づけになります。食堂+クラブ棟は、この小クワッドラングルの中に配置します。

2 | 平面計画 | ●平面ゾーニング: クラブ棟の位置について、南側に配置すると、住宅地に近く苦情が出やすいことや、LCセンターと食堂棟の連携が取りにくいことを考慮し、グラウンド及び合宿所と連携の取りやすい現状の位置に建設する案とします。●バラエティ豊かな空間構成: 食堂棟は手前側にホームカミングパーティー立食約600人が可能な大きなパーティーエリア、奥に行くにつれて、ミーティングエリア、スタディーエリアと、比較的小さな空間が桜の中庭をはさんで並ぶ構成とします。●時間帯による利用形態に対応: 昼食時には1,000席が食堂としてフル稼働し、さらにLCセンターのカフェや屋外スペースを含めて食堂機能が拡張します。午後15:00以降は、比較的小さなスペースをスタディーエリアなど、ラーニング環境として使い、LCセンターの機能が食堂棟側に拡張し、相互に機能が連携しあうイメージです。

3 | 断面計画 | 食堂棟とクラブ棟の構成については、それぞれが独立に計画でき、工事費を抑えやすい別棟の並列配置とし、食堂棟は平屋、クラブ棟は3階建の計画とします。

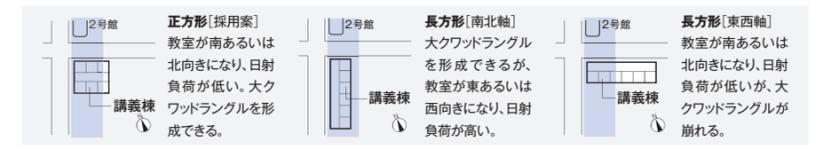


断面図

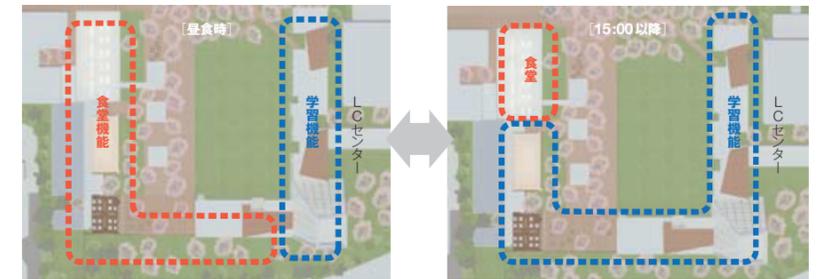


配置計画

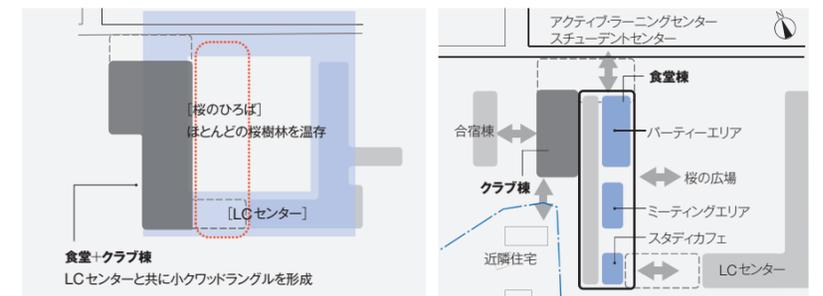
断面計画



教室配置計画

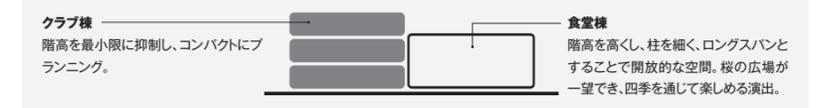


時間帯に対応した利用形態



配置計画

平面ゾーニングイメージ



断面計画

退職された先生からのメッセージ

退職にあたって
有賀幸則 | 機械工学科



昨年のホームカミングデーの日に、初めて研究室OB会を開催しました。西は静岡、長野から、東は宮城からと約40名の卒業生が遠路はるばる駆けつけてくれました。30年前の卒業生でも、会うと瞬時に在学中の頃のことが思い出されます。教員と学生という関係よりも、同じ釜の飯を一緒に食べた同士のような感覚でした。でも、卒業生にとってはまた違った感覚なのだろうなと思います。学生は卒業してからさまざまな経験を重ね、成長してきて、かつての大学の恩師に出会ったとき、「ああ、変わっていない」と感じるか、学生時代に感じた人生の先輩としての感覚を維持して、一緒に成長していると感じられるか、印象が分かれるのではないかと思います。(OB会の写真はFacebookにあります。)

教員の宿命ではありますが、同じところでずっと仕事をきて、いつも同年代の学生と一緒に過ごして、人としての成長はできているのか、いつも心配しています。でも、幾つになっても変わらぬ志で学生とぶつかり合うことができることも、大切なことだと思っています。在職40年はあっという間のような時間で、ゆっくり振り返る余裕もありませんでした。今になって振り返ってみると、いつも何か打ち込めるものがあっという間に思えます。40年間の振り返りについては、大学図書館発行の「青塔」第66号に「私の履歴書」としてまとめてみました。これは現在ネット上で公開されていますので、興味がありましたら読んでみてください。(「有賀幸則」「青塔」を検索するか、次のURLで <http://mlib.nit.ac.jp/webopac/TC00531651>)

たくさんの学生と一緒に楽しく、時にはぶつかり合いながら過ごせたことは、生涯忘れることのない、幸せな40年間でした。

日本工業大学での思い出
正道寺勉 | 情報工学科



工友会会員の皆様、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。私は本年3月末日を持ちまして、定年退職を致しました。4月からは、引き続き情報工学科の特任教授としてお世話になっております。想起せば昭和53年4月(昭和53年は、システム工学科の一期生が4年生になった年です)にシステム工学科の助手として奉職させて戴き、平成21年3月まで31年間お世話になりました。また、平成21年4月からは7学科体制及び学科再編に伴う人事異動で情報工学科に着任し、平成27年3月まで6年間お世話になりました。大学には合計37年間という長きに亙り公私共々お世話になり、心より感謝申し上げます。

研究は専門のオペレーションズ・リサーチ(OR)を中心に、最適化アルゴリズム(最近ではメタヒューリスティクス関係)の開発、画像処理(圧縮復元画像のノイズリダクション)アルゴリズムの開発に関する研究を行って参りました。研究成果を発表するため多くの国際会議に参加させて戴き、色々な国に行けたことは、私にとって異文化交流の重要性、日本の良さを再発見するとても良い機会となりました(右の写真【写真2】は、The 37th CIEに参加した時の写真です)。

上の写真【写真1】は、昨年のホーム・カミング



デーの日に開催致しました研究室のOB/OG会の記念写真で、全国から50名の参加がありました。参加者の中には家族連れで来てくれた人や他の研究室の人もいました。短い時間ではありましたが、学生生活の思い出に花が咲き大いに盛り上がり、お蔭様で楽しいひと時を過ごさせて戴きました。今年の3月までに私の研究室を巣立って行った学生さんは400名を数えました。彼女等/彼等は私の宝物であることは勿論ですが、色々なことを学ばせて戴き感謝致しております。大学の使命の一つに「人材教育」がありますが、日本工業大学を卒業/修了された皆さんが元気で活躍しておられることは、我々教職員にとって何物にも替え難い喜びであります。皆さんの卒論/修論/博論をご指導くださった先生に近況などを知らせて戴き、元気な顔を見せて上げては如何でしょうか。きっと先生方は大喜びされますよ。

最後に、卒業生の皆様の益々のご活躍と工友会の末永いご繁栄を心より祈念致しますと共に、日工大ファミリー(故竹内淳彦先生がよく仰っておられたお言葉)としての絆を、これからも大切にしていきたいと存じます。

写真1 | 2014年11月1日開催OB/OG会での記念撮影(システム工学科11期生・大塚晴司氏撮影)
写真2 | 2007年10月アレキサンドリア(エジプト)にて

大学の発展とともに
高橋明遠 | 電気電子工学科



卒業生のみなさん、元気にご活躍のこととお慶びいたします。私は、本年3月末日をもって定年退職いたしました。昭和47年

第15回ホームカミングデー開催報告

過去最多650名の参加者を迎えました。



第15回ホームカミングデーが昨年11月1日[土]に開催されました。出席者は、650名を越え会場の学生ホール(大食堂)は、満員になりました。この日は大学祭(若杉祭)の初日でもあり、学内は大変な賑わいでした。受付は11:30から学生ホール(大食堂)で始まり、名札、クーポン券(600円分)、パーティ抽選券、記念品、および大学の各種資料が参加者に渡されました。クーポン券は、若杉祭に出店しているクラブ、およびサークル等の模擬店で使用でき、学生との交流を楽しんでいただきました。12:30から学内見学会では、3コースに分かれて、工業記念博物館やLCセンターなどの設備を見学していただきました。

14:00からの懇親パーティでは、柳澤理事長、土井工友会会長、そして波多野学長の挨拶のあと、参加者全員での記念写真撮影が行われました。久々に再会した恩師や旧友と和やかに語り合う姿があちこちで見られました。工友会支部からは、地域の特選品の販売が行われ、人気の品はあっという間に完売しました。恒例の抽選会では抽選のたびに歓声と落胆のため息

が聞かれました。時間は瞬間に過ぎ、最後は卒業生、恩師、教職員、そして学生が肩を組んでの校歌斉唱が行われ「再会を約束して」閉会となりました。

第16回ホームカミングデーのお知らせ

2015年11月1日[日] 11:30-16:00

今年もホームカミングデーを開催します。同期の友人を誘って、また、ご家族連れで、多くの皆様に母校にお集まり頂きたいと願っております。参加は無料です。当日は若杉祭(大学祭)を開催しています。開催の詳細は大学ホームページ、または工友会ホームページで随時行ってまいります。

ホームカミングデー実行委員会
(大学・工友会共催)

次回



援助へのお礼 / 奨学生

工友会援助へのお礼

建築デザイン学群学生有志による「東京デザイナーズウィーク2014 学生展」への参加援助

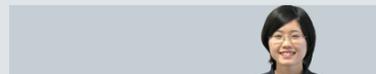
今回、「東京デザイナーズウィーク2014 学生展」(2014年10月25日から11月3日 会場: 明治神宮外苑)へ参加しました。2010年から参加し、今回で4年目となりました。継続して参加する学生を中心に、多くの新しいメンバーが加わり、学年の垣根をこえた大人数の協同によって作品を製作しました。私達は、FRPという繊維強化プラスチックで花びらを何個も作り、人々の発想やその人々自身の開花を表現しました。新しい素材での表現、そして施工は前年度までの木材と違うことから、薬品の臭気対策などを学び、新しい経験をすることができました。残念ながら賞を頂くことはできませんでしたが、たくさんの方からお褒めの言葉を頂き、また、普段の学生生活では得られない経験を積むことができました。作品に対する細かな配慮、仲間との協同の素晴らしさを学び、他大学との交流、海外や日本の若手アーティストの感性に直接触れるなど、多方面からの刺激を受けることができました。作品輸送費、交通費を援助して頂きありがとうございます。———土肥秋太[建築学科4年]



平成26年度日本工業大学工友会奨学生からのお礼

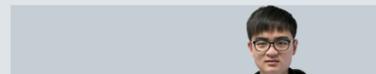
吉田歩[機械工学科3年]

この度は、工友会奨学金をご支援いただき、誠にありがとうございます。工友会の皆様のご支援のお蔭で、勉学・工房ともに全力で打ち込むことができ、より一層ものづくりを深く経験させていただくことができました。工友会奨学金に関わり尽力くださった皆様には、深く御礼を申し上げます。今後の大学生活でも、皆様への感謝の気持ちを忘れずに、卒業研究を始め、積極的に物事に打ち込んでいきたいと思っております。そして、卒業後、工友会の一員として優れたエンジニアになることを目標に、日々努力をしていきたいと思っております。



劉森森[機械工学科3年]

この度は、工友会奨学金の奨学生に採用していただき、その栄誉に感激すると共に、身の引き締まる思いです。私は留学生なので、奨学金は、学費、生活費に活用させていただきます。お蔭様で、学業やサークル活動に多くの時間をかけることができ、充実した学生生活を送っています。工友会奨学金を支えてくださっている皆様方に恥じぬよう、誠意をもって、これからの学生生活を邁進してまいります。ご支援をしていただき、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。



工友会援助・寄贈一覧

H26	
04/03	準会員入会記念品贈呈
06/30	アーチェリー部、アーチェリー世界学生選手権大会援助
07/31	うちわ、手ぬぐい贈呈
08/18	体操競技部、第68回全日本学生体操競技選手権大会交通費援助
09/08	工友会奨学金給付[10名]
09/20	準会員・会員入会記念品贈呈
10/25	東京デザイナーズウィーク2014 学生援助
10/31	卒業生子女への入学検定料の援助[2名]
11/01	第15回ホームカミングデー
11/01	喫茶後友会の運営
11/01	大学祭援助
11/01	ホームカミングデー 支部特薦品販売への援助
11/28	卒業生子女への入学検定料の援助[1名]
12/16	卒業アルバム購入援助
H27	
03/20	会員入会記念品贈呈
03/24	工友会奨学金給付[10名]

平成27年度日本工業大学工友会奨学生名簿

学科	学年	氏名
M	4年	白井里歩
E	4年	金子大暉
A	4年	大川春菜
A	4年	佐々木萌
A	4年	鈴木麻美
C	3年	兼島尚吾
C	3年	塚田周悟
M	2年	陳苗
E	2年	森田茜
S	2年	雨野暉

M: 機械工学科
E: 電気電子工学科
A: 建築学科
S: 創造システム工学科
C: 情報工学科

平成27年度総会議事要録 [日時:平成27年7月13日[土] | 13時-14時]

出席者

- 総数=140名
 - 有効総数=101名
[出席者:60名/委任状41名]
 - 成立人数=28名[総数の1/5以上]
- 定款第23条により、総会は成立した。

議長団

- 議長=土井嘉豊[E7]
- 書記=飯塚完司[E14]、土野一清[M1]
- 議事録署名人=佐藤建夫[大学]、
一戸孝三[M3]、加藤幸一[E3]

第1号議案

平成26年度事業報告ならびに収支報告に関する件
賛成多数をもって、原案の通り承認された。

第2号議案

平成27年度事業計画ならびに収支予算に関する件
賛成多数をもって、原案の通り承認された。

第3号議案

定款の規定に基づく
選任理事・監事承認に関する件
賛成多数をもって、原案の通り承認された。
その後、理事会を開催し、
会長に土井嘉豊[E7]、
副会長に大島敏正[M2]・横山賢二[A14]、
事務局長に清水博幸[E29]を選定し
総会出席者に報告した。

平成26年度会計報告、平成27年度収支予算は別紙またはホームページでご覧下さい。



平成27年度事業計画

総務委員会

活動目標/重点活動

- 全国各地の県支部間交流の活性化を図りたい。
特に九州地区の新たな支部結成に向け最大限の協力と支援を行う事により
地域を超えた相互交流を深め、会員の親睦と情報交換を密にしたい。
- これらを通してOBとしての自覚と愛校心を育みたい。
- 予算執行にはより厳正に対応したい。

財務委員会

活動目標/重点活動

- 長中期の視点に基づいた収支バランスの適正化
- 財源確保の方法を検討する | 資産運用先の検討を継続する

広報委員会

活動目標/重点活動

- 工友会会報の発行 | ● 工友会ホームページの更新

事業委員会

活動目標/重点活動

- 新入生を対象としたフレッシュマンキャンプへの資金援助
- 夏祭りへのうちわ、手ぬぐいの贈呈 | ● 大学祭への援助 | ● 卒業アルバムへの援助
- 学位記授与式当日の祝賀会への樽酒贈呈 | ● ホームカミングデーの開催
- 学生クラブ活動への援助

情報システム委員会

活動目標/重点活動

- 工友会フェイスブックページを活用し会員相互間の活動活性化を行う。
- 各種工友会 ITシステムの健全運用及び、セキュリティインシデント0を継続する。
- 学生支援として自治会・研究室向けにホームページスペースの提供を行っていく。

地域支部の活動報告

大阪支部

大阪支部総会のお知らせ

大阪府支部は、兵庫県支部と一緒に活動しています。今年の支部総会は、9月12日[土]に兵庫県の武田尾温泉にて開催を予定しています。宿泊をご希望されない場合でもお気軽にご参加ください。むずかしい会場ではありませんので、若手や中堅の方もお時間の都合がつかうようでしたらネットワークづくりに一度お越しください。——大阪府支部長 小山将史[A14]



神奈川県支部

近年の活動報告

平成26年11月1日[土]のホームカミングデーと、2日[日]全国支部大会に参加するため静岡県支部と神奈川県支部の合同でバスツアーを開催しました。静岡県支部は、工友会と後援会の方々20名程参加され、神奈川県支部は5名の参加がありました。一泊のバスツアーなので、なかなか参加者が増えず苦勞をしました。それでもバスの中は一気に打解け和気藹々とお酒を飲みカラオケに突入して楽しい旅行でした。——神奈川県支部長 小幡秀造[A9]



千葉県支部

恒例「すだて」

平成27年度千葉県支部総会は、5月30日[土]に無事終了しました。平成28年度の総会は、5月28日[土]にパーディホテルで開催の予定です。6月21日[日]に、支部恒例の「すだて」を開催しました。今年は、業者が「つばや」に変わり、勝手が少し変わりましたが、栃木県や後援会千葉県支部からの参加を得て、総勢30名が参加しました。来年は、7月上旬あたりを予約したいと思っています。一度「話の種」に参加してはいかがですか。——千葉県支部長 藤井敏雄[E3]



岡山県支部

中四国近畿支部と後援会による合同懇親会の報告

岡山県支部を発起人として中四国近畿支部は、平成26年10月18、19日に後援会と共同開催による合同懇親会を開催しました。開催当日、学長波多野先生に「大学の現状と、ご自身の研究実績」の記念講演を頂戴しました。参加者総数は66名と大変に盛況な会となりました。参加者の内訳は、大学関係者(7名)、後援会関係者(25名)、工友会会員(34名)でした。——岡山県支部事務局長 葛原英司[A8]



栃木県支部

近年の活動報告

栃木県支部は支部第1号として発足して7月で33周年に成ります。色々な企画を立案して、近隣の福島県支部、群馬県支部、埼玉県支部と相互交流し工友会及び支部の発展に頑張っています。千葉県支部とも各行事に参加にて交流を進めています。後援会栃木県支部様とは、交流を密にして新入学生や現役学生に「講演やよろず相談」などでアドバイスを実施し、工友会活動の紹介と将来は会員として活動に参画するよう要請しています。——栃木県支部長 田中晃[E5]



写真:「暑気払い」ビール園の後に猪苗代湖畔周辺を散策
(三県合同企画で昨年8月2日に実施)

H27年度[2015年度]の支部行事(一部)

- 1 | 支部の集い「支部総会」8月30日[日]宇都宮市市民プラザ
- 2 | 四県合同企画「暑気払い」8月1日[土]福島県本宮アサヒビール園
- 3 | 「ちょっと遅い」新年会2月20日[土]予定

支部ホームページを
観て下さい。
tochigi.koyukai.com

長野県支部

長野県支部設立20周年記念行事の報告

長野県支部は設立20周年をむかえ、記念行事を行いました。当日は、大学より5名の先生方、工友会より土井会長をはじめ、福島県支部、群馬県支部、栃木県支部からもご参加いただき、記念講演、懇親会をおおいに盛り上げていただきました。心より感謝申し上げます。——長野県支部事務局長 滝澤真一[M18]



工友会地域支部一覧

支部名[設立年]	支部長[任期]	総会日程
青森県支部 [H6年2月]	岩山政則[E3]	2015/11/28[土]予定
秋田県支部 [H10年8月]	佐藤信勝[A12]	開催日未定
岩手県支部 [S58年8月]	久保田懐[E12]	開催日未定
山形県支部 [H10年8月]	土屋仁[A14]	開催日未定
福島県支部 [H17年9月]	真船正広[E16]	開催日未定
栃木県支部 [S57年7月]	田中晃[E5]	2015/8/30[日]
群馬県支部 [H23年10月]	桑原金一[E12]	2015/10/3[土]
埼玉県支部 [H17年3月]	薄井敏光[M8]	2015/9/12[土]
千葉県支部 [S58年7月]	藤井敏雄[E3]	2015/5/30[土]
神奈川県支部 [S58年2月]	小幡秀造[A9]	2016/2/20[土]
長野県支部 [H17年6月]	清水高市[A9]	2015/8/29[土]-30[日]
静岡県支部 [S58年7月]	安達一浩[M18]	2015/5/30[土]
愛知県支部 [S58年10月]	大野雅己[A7]	2015/5/9[土]
大阪府支部 [H17年10月]	小山将史[A14]	2015/9/12[土]-13[日]
兵庫県支部 [H17年10月]	中津義智[A5]	2015/9/12[土]-13[日]
広島県支部 [H2年11月]	増谷淳[M5]	9月中旬予定
岡山県支部 [H19年2月]	齋藤誠[A8]	2015/10/9[金]予定
山口県支部 [H2年11月]	山本妙生[A11]	2015/7/4[土]
香川県支部 [H13年4月]	川田卓宏[S10]	2015/8/1[土]
徳島県支部 [H13年4月]	佐川正師[A23]	2015/8/1[土]
愛媛県支部 [H13年4月]	窪田博年[A24]	2015/8/1[土]
高知県支部 [H13年4月]	池内忠[M14]	2015/7/11[土]
山陰支部 [H22年2月]	小松義昌[A4]	開催日未定
沖縄県支部 [H1年6月]	川満秀吉[E10]	開催日未定
バンコク支部 [S59年1月]	ANAN PACHARATAN[M1]	開催日未定

工友会学科支部一覧

支部名	支部長[任期]	総会日程	開催場所
機械工学科支部	渡邊正道[M1]	2015/9/19[土]	機械実工学教育センター講義室 13:30-
電気電子工学科支部	森正美[E1]	2015/11/1[日]	9号館1階103号室電気電子工学科会議室 12:00-13:00
建築学科支部	中村國雄[A7]	2015/11/1[日]	建築デザイン学群棟1F 101会議室 11:00-12:00
システム工学科支部	小松保彦[S1]	2015/11/1[日]	学生会館2F和室/12:00-14:00
情報工学科支部	加藤利康[C3]	2015/11/1[日]	情報工学科棟マルチメディア教室 13:00-14:00



全国支部大会の報告

平成26年度全国支部大会が2014年11月2日[日]日本工業大学学生ホール(大食堂)で開催されました。全国支部より37名と本部の10名、合計47名の方々に参加して頂き、多数の意見、活発な議論が行われました。今後も、各支部の企画で、更なる支部の活性化につながればと期待しています。



今年の
全国支部大会は
日本工業大学で開催

平成27年10月31日[土]
13:30-15:30
日本工業大学学生会館

平成27年度の全国支部大会は、上記の日程で開催いたします。詳細は後日、全支部長宛にご案内します。翌日は、ホームカミングデーも開催されます。皆様の参加をお待ちしております。

次回

維持会費納入者 [平成26年度 | 489名 | 敬称略]

Table of maintenance fee contributors, listing names such as 浅賀澄男, 君島邦夫, 君島純一, etc.

Table of maintenance fee contributors, listing names such as 宮澤秀幸, 石丸揚弘, 小野寺孝勝, etc.

維持会費振込のお願い

本会は、在学時に納付頂いた会費と卒業生が納付する維持会費により運営されています。維持会費は卒業後10年を経過した会員の方^[1]から、年会費として3,000円を頂くことになっておりますので、維持会費の納付をお願い申し上げます。

インターネットバンキングからの納付方法

銀行名：ゆうちょ銀行 | 金融機関コード：9900 | 店番：019 | 預金種目：当座 | 店名：〇一九店(ゼロイチキュー店) | 口座番号：0400667 | 受取人名義：シヤ)ニッポンコウギョウダイガクコウユウカイ



就学援助金納入者 [平成26年度 | 253名 | 敬称略]

Table of scholarship contributors, listing names such as 浅賀澄男, 佐々木文昭, 西田芳則, etc.



就学援助金への寄付のお願い

就学意欲があるにも関わらず、経済的事情から卒業を目前にしながらも退学を余儀なくされる学生が少なからず存在します。本会では、学生への経済的支援活動として、工友会奨学金(20万円/年×10名)や、学生生活援助金(総額50万円/年)などの支援事業を実施しています。

工友会寄付金納入者 [平成26年度 | 2名 | 敬称略]

Table of labor union donation contributors, listing names such as 真船正広, 高橋誠.

退職された方々

Table of retired faculty members, listing names such as 有賀幸則, 高橋明遠, 正道寺勉, etc.

訃報 [会員ならびに教職員の方々]

謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈りいたします。(平成27年6月30日現在)

Table of obituaries, listing names such as 松木正勝, 竹内淳彦, 佐伯正盛, etc.